



# 令和5年度 北部教育事務所 学校応援BOOK

## 1 主体的・対話的で深い学びの実践集



## 2 「授業振り返りシート」実践事例集



## 3 「総合的な学習の時間」実践紹介



## 2 「授業振り返りシート」実践事例集

～令和5年度学校訪問等から～

P.29 ～ P.54





## 【小学校】国語

### 主体的な学び

### 学習内容の意識化

教師は、本時と単元の終末のつながりを明確にし、45分で何を学び何ができればよいか児童が実感できるように工夫しました。

単元の全体の流れが分かる掲示物やワークシートをもとに、見通しをもって主体的に学ぶ児童の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 時間の確保

教師は、他の児童の作品を読むことができるように時間を確保し、意見を付箋で貼らせたり、シールで共感を表現させたりしました。

児童は自由に歩いてたくさんの友達の作品を味わい、お互いのよいところを褒めたり、よりよくなるように助言したりしていました。



### 深い学び

### 言葉の捉え直し

教師は、「なにが」「どこに」「どのように」という言葉の意味を明確にした上で、児童に教科書の文章から選択させました。

1人1台端末を活用することで、よりねらいに沿った言語活動となり、じっくりと考えて選ぶ児童の姿が見られました。







## 【中学校】国語

### 主体的な学び

### 学習内容の意識化

教師は、導入で単元のゴールとなる言語活動を具体的に示し、本時の学習内容が単元の終末にどのようにつながるのか意識できるようにしました。

相手意識と目的意識を明確にもち見通しをもって主体的に学習に取り組む生徒の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 資料の活用

教師は、教科等横断的に単元を構成し、家庭科や食育、総合的な学習の時間等で学んだ資料を生徒が考えの根拠として活用できるようにしました。

1人1台端末を利活用し、協力してよりよいキャッチコピーを考えようとする生徒の姿が見られました。



### 深い学び

### 言葉の捉え直し

教師は、生徒がよい俳句のイメージをつかみ、情景や心情を読み取ることができるよう、読み取りの観点を示したり、言葉に着目させたりしました。

自分の考えを伝え合う中で言葉の意味を捉え直し、読みを深める生徒の姿が見られました。





## 【小学校】社会

### 主体的な学び

### 振り返りの工夫

教師は、年表の作成を通して、小単元全体の学びを振り返ってまとめる活動を設定しました。

これまでに調べてきたことや学んだことを比較・分類したり、関連付けたりして、学習問題について考えを深める児童の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 必要性の意識化

教師は、「本当に武士の世の中になったのか」と問いかけ、1人1台端末を活用して各児童の考えを可視化しました。

自他の立場を比べ、「なぜそう考えたのか」をきっかけにして、必要性をもって話し合う児童の姿が見られました。



### 深い学び

### 板書の工夫

教師は、児童が調べたり考えたりしたことを整理し、キーワードを板書しました。

構造化された板書をもとに、本時の学習を振り返りながら児童自ら問いをもち、学習問題を見いだす姿が見られました。







## 【中学校】社会

### 主体的な学び

### 多様な資料提示

教師は、課題に迫るための資料を複数用意し、社会的事象を多面的に捉えて多様な考えをもてるようにしました。

グループ活動では、各資料から得た情報を交流し、考えを深める生徒の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 課題と学びの正対

教師は、律令国家と地域の遺跡との関係性を問いかけ、資料をもとにグループで話し合う活動を設定しました。

資料から読み取れることを根拠に、歴史的背景や地理的環境などから多面的に考え、課題解決する生徒の姿が見られました。



### 深い学び

### 知識の獲得

教師は、1人1台端末を利活用させ、必要に応じて追加の資料を参照させるなど、個に応じた支援を充実させました。

調べ活動を通して個別の知識を獲得し、それらをもとに概念的な知識へと考えを深めていく生徒の姿が見られました。





## 【小学校】算数

### 主体的な学び

### 課題設定の工夫

教師は、業前活動の「釣り遊び」から算数の時間に入り、「一番多く釣った種類がひと目で分かるように整理する方法」を課題に設定していました。

「種類」「向き」「端をそろえる」等の視点を持ちながら、自分たちが釣った模型の並べ方を主体的に考える児童の姿が見られました。

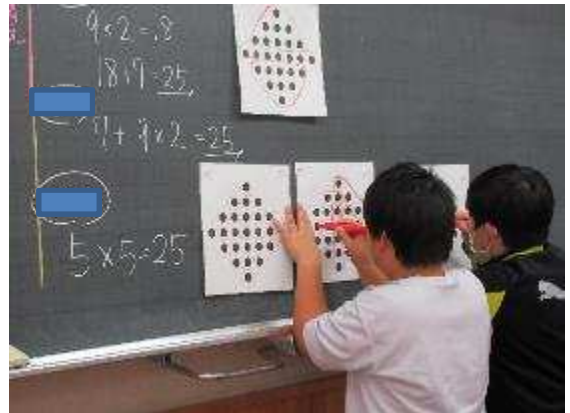


### 対話的な学び

### 言語活動の充実

教師は、困っている児童の考えから「式」だけを提示し、他の児童に「図に表してくれる人」と声かけをしました。

手の止まっていた児童も周りに協力してもらいながらつまずきを解消することができました。さらに、式と図を結び付けながら考える児童の姿も見られました。

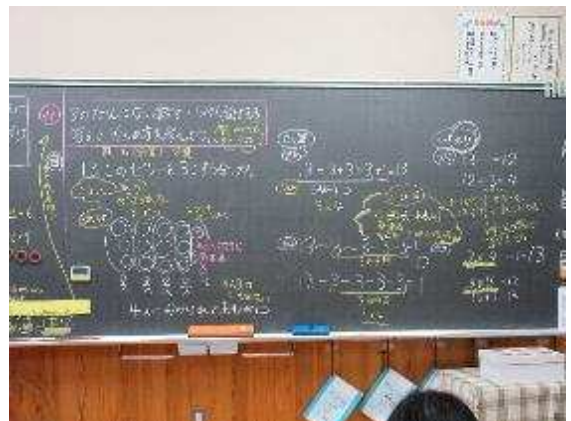


### 深い学び

### 児童の発言の活用

教師は、児童のつぶやきに耳を傾け問い返したり、他の児童に説明をさせたりしながら共有し、考えをより明確にしました。（黄色は児童の発言内容）

教師の問いかけに答えながら、他者の考えを理解しようとする児童の姿が見られました。







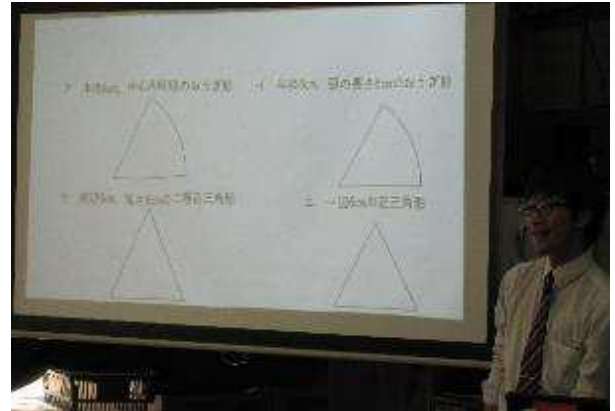
## 【中学校】数学

### 主体的な学び

### 見通しの共有

教師は、面積の大小を比較する問題で「どちらが大きいか」結果を予想させたり、「どのような比較方法があるのか」方法を問うたりしていました。

解決の見通しをもち、自力解決の時間に何から取り組めばよいのか考える生徒の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 発表方法の工夫

教師は、授業前半にグループで話し合わせながら証明の構想を組み立てさせる場面を設定していました。更に授業後半では、グループを変え様々な証明方法を伝え合う場面も設定していました。

他者の考えを聞き、加筆修正や質問をしながら証明方法について考えを深める生徒の姿が見られました。



### 深い学び

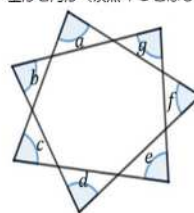
### 統合的・発展的な思考

教師は、星形五角形の先端の角の和を求めさせた後「さらに、どのような事を考えてみたいか」生徒に問うていました。

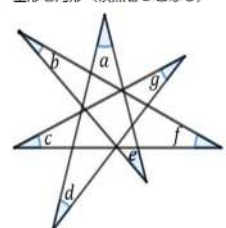
問題の条件を変え、星形七角形の和も求められるのか、星形五角形のとときの解決方法をもとに取り組む生徒の姿が見られました。

【練習】

① 星形七角形（頂点1つとばし）



② 星形七角形（頂点2つとばし）







## 【小学校】理科

### 主体的な学び

### 根拠のある予想・仮説

教師は、身近な道具を具体物として準備し、それらの働きについて既習内容をもとに説明できるように、板書やワークシートを工夫し、思考を促しました。

グループ内で考えを比較したり、異なる意見に根拠を求めたりする児童の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 比較場面の設定

教師は、予想の場面において個人で予想を書かせた後に、友達の考えを聞く時間を設定し、自分の考えと比較・検討させていました。

1人1台端末で分類したり、共通点を見つけたりしながら、考えを共有し、自分の考えを広げている児童の姿が見られました。



### 深い学び

### 見方・考え方を働かせるための支援

教師は、モデル実験の後に、結果を撮影した1人1台端末を並べて、太陽の位置と月の満ち欠けの関係を比較できるようにしていました。

時間的、空間的な見方を働かせながら、太陽と月の位置と月の満ち欠けの関係について考察し、表現している児童の姿が見られました。





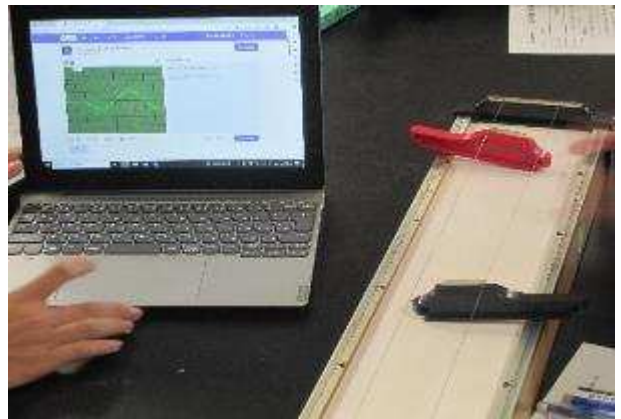
## 【中学校】理科

### 主体的な学び

### 課題設定の工夫

教師は、課題設定の際、対話を通して生徒が見出した問題を生かせるよう、工夫して指導計画を作成していました。

授業の中で1人1台端末を活用し、ペアごとに選んだ観察対象について、結果の見通しをもって調べようとする生徒の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 授業場面の組立

教師は、実験方法の場面では生徒を前に集め、具体物を用いながら実験方法を説明しました。その後グループごとに実験、考察と生徒が対話的に学ぶ場面を設定しました。

相談しながら実験を進め、結果から個人で考察し、自分の考えを表現する生徒の姿が見られました。



### 深い学び

### 「見方・考え方」を働かせるための支援

教師は、班に1つずつモデル実験を用意し、本時でどのような見方・考え方を生徒に働かせていくのか意図的に指導していました。

モデルを用いて、時間的・空間的な見方を働かせながら、課題に対する自分の考えを説明している生徒の姿が見られました。







## 【小学校】生活

### 主体的な学び

### 学習への意識づけ

教師は、児童が相手意識や目的意識をもって学習ができるように、家の仕事について自分を中心に据えたウェビングマップに整理させていました。

自分との関わりで対象を捉えさせることで、自分でできることを増やし家族を喜ばせたいと活動の見通しをもって取り組む児童の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 交流機会の設定

教師は、児童が試行錯誤しながらおもちゃを改良する様子を1人1台端末で撮影し、モニターに写してよいところや工夫しているところを交流させていた。

教師の問い返しにより、個別の気付きを関連付け、考えを広げ深める児童の姿が見られました。



### 深い学び

### 思考過程の工夫

教師は、おもちゃをパワーアップさせるためにはどうするか、個で考えさせ班で意見交換をさせた後に、協働的な体験活動を設け、一人一人の思いや願いを実現させていました。

どうしたらよりよいおもちゃを作るか、自分の考えを試したり、友達の考えのよいところに気付き、取り入れたりする児童の姿が見られました。





## 【小学校】音楽

### 主体的な学び

### 共通事項の確認

教師は、本時で扱う共通事項を児童が随時意識しながら学べるように、発問や板書の工夫をしていました。

共通事項を明確にすることにより、学習の見通しをもって、主体的に取り組もうとする児童の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 活動の設定

教師は、具体物を提示したり身体表現を取り入れたりして、曲に対するイメージの喚起を促す活動を設定していました。

自分の思い浮かべた様子を大切にしながら活動する児童の姿が見られました。



### 深い学び

### 児童との対話

教師は、児童との対話の中で問い返しや切り返しを行いながら曲にふさわしい表現方法を引き出し、大型テレビを活用して全体で共有できるようにしました。

考えた表現方法を生かしながら、思いをもって豊かに歌う児童の姿が見られました。







## 【中学校】音楽

### 主体的な学び

教師は、1人1台端末を活用して生徒の歌唱表現の変容を捉え、そのよさや課題を全体で共有する場を設定していました。

曲想や表したいイメージに合うための工夫を考え、伝え合ったり歌い方を試行錯誤したりする生徒の姿が見られました。

### 変容の価値付け



### 対話的な学び

教師は、生徒同士が伝え合う時間を確保し、対話をしながら歌に合った表現方法を考えさせる工夫をしていました。

どのように表現するかについて自分の思いを大切に活動する生徒の姿が見られました。

### 思考の深化



### 深い学び

教師は、生徒の発言に問い返しや切り返しを行い、知覚と感受を結び付けながら整理させ、曲の理解を深める工夫をしていました。

言語化して価値付けされた気付きを再度、音で確認し、感想を伝え合う生徒の姿が見られました。

### 生徒との対話





## 【小学校】 図画工作

### 主体的な学び

### ICTの活用

教師は、1人1台端末を利活用し、それぞれの意見を視覚化したことで児童が互いのイメージを共有し、鑑賞の活動が活発になるよう支援をしていました。

言語活動を視覚化する支援を受けたことで、自分の意見と重ね合わせたり、違いを発見したりと鑑賞を楽しむ児童の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 鑑賞の視点の明確化

教師は、〔共通事項〕をもとにした色、形、イメージの視点を与えることで、鑑賞の活動を深める工夫をしました。

友達の表現の工夫や作品のよさに触れることにより、自分の考えをさらに広げたり、深めたりする児童の姿が見られました。



### 深い学び

### 〔共通事項〕を踏まえた支援

教師は、様々な表現技法を使用した参考作品を提示し、一人一人の感性を大切に授業を展開しました。

児童は、使用する画用紙の色を自分で選択したり、材料を組み合わせたりするなど、発想力豊かに製作することができました。







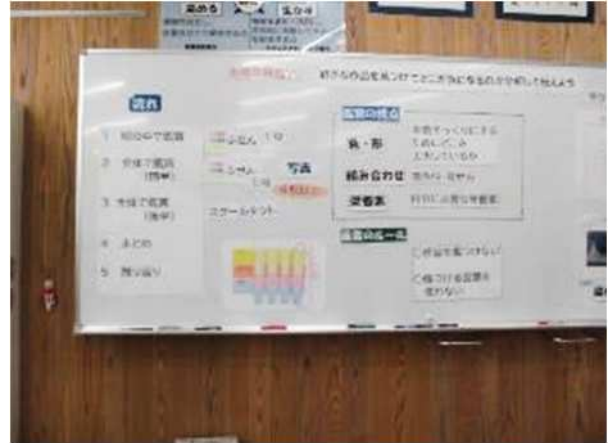
## 【中学校】美術

### 主体的な学び

### 課題解決を図るための支援

教師は、本時の目標とともに、活動の流れや鑑賞の視点を板書することで、生徒が見通しをもって活動に取り組むことができるよう工夫していました。

今何をするべきか、次にどのような活動を行うのかが示され、安心して鑑賞の活動に取り組む生徒の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 考えを広げ深めるための支援

教師は、表現と鑑賞を相互に関連させる活動を取り入れるために生徒同士がお互いの作品について伝え合う場面を設定しました。

お互いの表現の工夫や作品のよさを伝え合うことにより、自分の考えを広げ深める生徒の姿が見られました。



### 深い学び

### 深く思考するための支援の工夫

教師は、生徒が自信をもって主題を生み出せるよう、適切な助言を行い、一人一人の感性を大切に授業を展開しました。

教師や友人の助言をもとに、一人一人が自らの主題を生み出し、心豊かに表現の構想を練る生徒の姿が見られました。





## 【小学校】 体育

### 主体的な学び

教師は、本時の主運動につながる感覚づくりの運動を精査することで児童たちに目的意識をもたせるとともに、豊富な運動量の確保にも努めていました。

感覚づくりの運動で養った動きをゲームで活用できるよう、意欲的に取り組む児童の姿が見られました。

### 主運動へのつながり



### 対話的な学び

教師は、課題解決のための支援として、動きのポイントについて児童用のループリック表を作成し、視点の明確化を図っていました。

教師が提供したループリック表や教具を活用しながら、技の出来映えや課題について友達に伝え合う活動を行おうとする児童の姿が見られました。

### 解決策発見の支援



### 深い学び

教師は、ホワイトボードで既習の課題解決の方法を示し、「どうしたらもっと得点が取れるのか」を問いかけ、考えを深めさせていました。

これまで学習した内容を生かして本時の課題の「得点をねらうためにボールを投げられる場所に動くこと」を意識したことで、より多く得点を取ろうとする児童の姿が見られました。

### 既習事項の活用







## 【中学校】保健体育

### 主体的な学び

### 主運動へのつながり

教師は、主運動につながる基礎的・基本的な運動を厳選し、主運動とのつながり、必要感や目的意識をもたせて称賛の声かけを行いながら、感覚づくりの運動を行いました。

ペアで互いの動きを称賛し、自分の動きを確認しながら本時の活動につながる動きを獲得しようとしている生徒の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 表現手段の支援

教師は、「ペースを一定にして走ること」について、理想のペース配分や失敗例をグラフで可視化したり、それぞれのパターンに応じた声かけ例を提示したりして、ペア活動において友達に伝える具体例を示し、指導を行っていました。

掲示物や1人1台端末を利活用しながら、本時のねらいの達成に向けて、互いに自分の考えを伝え合おうとする生徒の姿が見られました。



### 深い学び

### 多様な関わり方との関連付け

教師は、ハードルを跳ぶことだけでなく、互いに見て学ぶこと、互いに動きを見合っ出来映えを伝え合うこと、課題解決の方法を知ることなど、運動との多様な関わり方についての意識付けを行いました。

友達との関わりを楽しみながら互いに高め合い、主運動に対する見方・考え方を働かせて学習に取り組む生徒の姿が見られました。





## 【中学校】技術分野

### 主体的な学び

### 過程を踏まえた支援

教師は、科学的な理解に基づいた設計を通し、各段階間を往来させる支援を行いました。

構想を基本としながらも、材料に合わせて修正し、板材を最大限に活用できる材料取り図を設計する生徒の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 思考の可視化

教師は、グループによる話し合い活動を通し、考えを整理し、それらを集約・分類することで互いの考えを可視化しました。

1人1台端末を利活用し、未来のエネルギーミックス案を構想する生徒の姿が見られました。



### 深い学び

### 振り返り

教師は、振り返りの時間を確保し、本時の学習内容の理解や解決活動の確認を行いました。

情報を整理し、身の回りの製品は、その目的に合った様々な材料で作られていることを他者に説明する生徒の姿が見られました。







## 【小・中学校】家庭

### 主体的な学び

### 目的の明確化

教師は、経験や失敗を想起させ、「こうなったらいい」という児童の願いをもとに日常生活の中から問題を見いだすことにつなげていました。

散らかった部屋での困った経験を思い出し、どのようにしたいかを考え、解決すべき課題を設定する児童の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 思考の可視化

教師は、本時の課題に対する考えや手立てを1人1台端末で児童に表現させ、毎時間作品の画像とともに記録に残させました。

縫い始めと終わりを丈夫に仕上げるために、どこを返し縫いするかを友達と一緒に考え意識しながら取り組む児童の姿が見られました。



### 深い学び

### 教室環境や資料提供の工夫

教師は、生徒が「見方・考え方」を働かせながら思考を深めることができるよう、教材・教具の工夫を図りました。

できるだけごみを出さない生活をするために、リサイクルするだけでなく、ごみを減らす工夫を考える生徒の姿が見られました。





## 【小学校】外国語活動・外国語

### 主体的な学び

### ねらいと課題の設定

教師は、大型モニターを用いて、ALTに伝えたい日本文化や伝統行事を紹介する活動場面を設定していました。

日本文化の魅力やできることについて、どうすれば効果的に伝えることができるか、工夫して表現しようとする児童の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 活動場面の工夫

教師は、Small Talk を活用した授業展開を心がけ、お互いのことを伝え合いたくなるような話題を取り入れ、導入を工夫して設定していました。

教師やクラスメートとのやり取りを通して、児童の言語活動における表現が豊かになり、考えを深める児童の姿が見られました。



### 深い学び

### 児童との対話

教師は、話し相手により分かりやすく伝えるようにするためには、どのような工夫ができるのかを、対話を通して児童自身が気付くことができるよう働きかけていました。

他の児童の発表や発言で、自分に必要な表現や工夫を考えて、よりよい課題解決の方法を見つけようとする児童の姿が見られました。







## 【中学校】英語

### 主体的な学び

### 学習課題の設定

各英語教諭が「デジタル教科書」を活用した個別最適な学びを研究し、各授業で実践し、教科部会等で工夫内容を共有しながら、その活用を学校全体で推進していました。

自分にあった学習課題を設定し、デジタル教科書を活用しながら、繰り返し音読練習をする生徒の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 形態の工夫

教師は、TS interaction を中心に授業を展開し、生徒が「言いたいこと」を上手に引き出し、生徒に「内容」と「形式」の両面から数多くの気づきを意図的に与えていました。

教師による発問等の意図的な働きかけで、教師と対話している生徒だけでなく、その対話を聞いている生徒も学びを深めている姿が見られました。



### 深い学び

### 課題解決の自覚化

教師は、即興で伝え合う対話活動やトピックのみ与えたスピーチ活動を年間及び単元計画に位置付けて計画的に指導していました。

生徒は、毎回の言語活動後、活動中に学んだことやアウトプットしたことを振り返り、ポートフォリオに残し、毎時間の学びを蓄積していました。授業中ポートフォリオを参考に自ら学びを調整する姿が見られました。





## 【小学校】道徳

### 主体的な学び

### 適切な課題設定

教師は、児童が興味関心を高め、問題意識がもてるよう、日常の学級内の様子を写真で提示していました。

導入で日常の様子を写真で客観的に見たことで、より登場人物と自分とを重ね合わせて考えている児童の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 教具等の工夫

教師は、考えを視覚化するツールを2つ使用して考えの変容を可視化し、多様な意見を引き出しながら授業を行っていました。

教師の意図的指名により自分と友達の考えを比較し、考えをより深めたり、広げたりする児童の姿が見られました。



### 深い学び

### 効果を踏まえた方法の選択

教師は、本時の学習に関わる児童の実態や指導内容から、終末で児童一人一人に友達からのメッセージを用意し、心に余韻を与えるような工夫をしていました。

メッセージを読むことにより、学んだことをさらに深く心にとめ、思いを高めている児童の姿が見られました。







## 【中学校】道徳

### 主体的な学び

### 思考を深める場の設定

教師は、ワークシートやカードを活用し、自分自身と向き合う時間を確保して、生徒の多様な考えを引き出していました。

生徒の心の内を可視化することにより、ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えに気付く生徒の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 発問・発言場面の工夫

教師は、生徒同士が意見を交流しやすいように席を離れて『たすね歩き』の形態を取り、少人数で話し合う場面を設定していました。

人間の弱さを考えたり、本音で語り合ったりする生徒の姿が見られました。



### 深い学び

### 効果を踏まえた方法の選択

教師は、生徒が道徳的諸価値の理解を基に自分との関わりで考えられるように、終末にインタビュー動画を取り入れ、効果的な指導方法を工夫していました。

助産師さんの生の声を聞くことを通して、生き方についての考えをより深く考えていました。広い視野から多面的・多角的に自分事として考える生徒の姿が見られました。





## 【小・中学校】総合的な学習の時間

### 主体的な学び

### 学習への意欲付け

教師は、本時の課題提示後、見通しの時間を設定し、学習活動の流れや時間を確認しました。また、単元の目的を再確認していました。

身近にある生態系の情報発信に向けて、様々な情報を収集したり、丁寧に整理・分析したりと、意欲的な生徒の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 情報の収集

教師は、個人で考えた時間の後に考えを発表したり、全体で共有したりする時間を設定しました。

友達の様々な考えを聞くことで、自分の考えがより明確になったり、多様な情報を収集したりして、自己の思考を広げ深めている児童の姿が見られました。



### 深い学び

### 考えるための技法

教師は、フィールドワークで気付いた点について発問したり、思考ツール（座標軸、クラゲチャート）を活用して思考を可視化したりしました。

こうした工夫により、自分の考えを整理したり、友達の意見から新たな発見をしたりしている児童の姿が見られました。







## 【小学校】学級活動（１）

### 主体的な学び

### 議題等の事前周知

教師は、学級会のはじめに提案理由や決まっていることを掲示物や大型モニターで提示し、話合いの見通しを全体で共有していました。

何のために話し合うのか、どのような条件で話し合うのか明確になり、意欲的に話し合う児童の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 多様性の涵養

教師は、短冊や賛成・反対マーク、分類の見出しの他、意見に対する理由の掲示物等を使用して、友達の様々な考えを把握しやすくする工夫をしました。

話合いの状況が可視化され、話合いをスムーズに進めている児童の姿が見られました。



### 深い学び

### 話合いの充実

教師は、出された意見のよさや違いを明確にさせるとともに、友達の意見を踏まえた関連発言をするよう助言しました。

一つ一つの意見や理由等に注目して比べ合うことができ、よりよい合意形成に向かって話合いを深めている児童の姿が見られました。





## 【中学校】学級活動（1）

### 主体的な学び

### 問題の可視化

教師は、事前の活動でアンケート調査を実施し、学級の状況を踏まえた上で、計画委員と議題の選定や話合いの柱を設定しました。

アンケート結果を提示することで生徒は本時の話合いを自分事として捉え、意欲的に話し合う生徒の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 場の設定の工夫

教師は、全体での話合いの途中に小グループで意見交流をしたり、短冊を活用して考えをまとめたりする時間を設けました。

小グループでの時間を設定することで、意見等を様々な視点から検討することができ、熱心に話し合う生徒の姿が見られました。



### 深い学び

### 板書の工夫

教師は、柱①で決定した2つの意見に対する工夫や具体的な方法を柱②で話し合うよう柱立てをし、分類の見出しも活用しました。

話合いを焦点化することで、生産的な話合いとなり、よりよい会にしようと話合いを深めている生徒の姿が見られました。







## 【小学校】特別支援教育

### 主体的な学び

### 実態に合わせた指導

教師は、ワークシートの記入を補助する教材や教具を個別に準備し、各々の実態に合わせた指導の工夫をしていました。

教材教具を活用しながら主体的に活動をしている児童の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 自分の考えを整理する工夫

教師は、思考ツールの活用を図ることで、児童自身が自分を振り返り、考えを整理できるよう工夫しました。

思考ツールを活用し、自分の生活場面を振り返り、課題を明確にした上で解決方法を検討する児童の姿が見られました。



### 深い学び

### 自己選択・自己決定

教師は、自立活動の時間において、活動の流れや難易度、必要な支援等について、対話を通して児童に選択させていました。

前時までの成果や課題を意識して自己選択・自己決定をすることで、困難さの克服に向かう児童の姿が見られました。





## 【中学校】特別支援教育

### 主体的な学び

### 見通し

教師は、1時間の活動の見通しがもてるよう、学習活動や時間配分等を工夫して提示し、個人目標の設定を促しました。

見通しがもてることで、1時間の流れが分かり、学習活動に主体的に取り組む生徒の姿が見られました。



### 対話的な学び

### 自分の考えを整理する工夫

教師は、生徒が自分の気持ちを伝える時間を設けることで、現在の気持ちや考えを整理し、自己との対話ができる工夫をしていました。

自分の気持ちを表現したり、文章で整理したりすることで自分を客観視することができ、自己の考えを広げ深める生徒の姿が見られました。



### 深い学び

### 自己選択・自己決定

教師は、生徒自身が材料を選択・決定する場を設けることで、生徒の見方や考え方が働き、深く考えられるように工夫しました。

作品を受け取る人の気持ちになって考えを巡らせ、材料を選んで制作に取り組む生徒の姿が見られました。





### 3 「総合的な学習の時間」実践紹介

P.55 ~ P.56



## 【中学校】総合的な学習の時間

令和5年度「寄居ふるさと探究学」の実践から  
寄居町立中学校（寄居中学校・城南中学校・男衾中学校）

### 1 「寄居ふるさと探究学」とは？

#### (1) 取組の概要

「寄居ふるさと探究学」とは、寄居町教育委員会の事業の一つで、町内全中学校において、「生徒が創りたい寄居のまち」をメインテーマに、探究的な学習に取り組むものです。総合的な学習の時間に、学年・学級の枠を取り払った縦割りグループを編成、生徒たちは自分の興味・関心をもとにゼミを選択し、探究的な学習に取り組めます。

このような探究的な学習を通じ、「主体的・対話的で深い学び」を展開する中で、生徒たちは「深く学ぶ」や「とことん追究する」、「じっくり創る」等を経験することができます。その経験は、「もっと学びたい」という意欲を喚起させ、学力向上にもつながるとともに、郷土愛を醸成することができます。

「寄居ふるさと探究学」のまとめとして、各ゼミで探究した内容をもとに、町長へ提言します。

#### (2) 探究の実際

##### ア 教師はコーディネーター

教師の主な役割は、連絡や調整、教材の準備等です。教えたり指示したりする時間をあえて減らし、生徒の自主性を引き出します。

「寄居ふるさと探究学」では、右の写真のように、教師も生徒と一緒に探究します。



##### イ 積極的に校外で探究

寄居町をより一層深く知るために、積極的に校外へ赴き活動します。見たり聞いたり五感を使って探究します。

校外へ移動するための交通費等は、生徒の探究心をサポートするため、町の予算から支出します。

右の写真は、町内にある埼玉県立川の博物館を訪れて、荒川の成り立ちについて学芸員の説明を聞く場面です。



##### ウ 多くの人との関わり

「寄居ふるさと探究学」では地域の方や専門家など、多くの方と関わることで、研究を深めていきます。

町役場の職員から寄居町の特色について聞いたり、寄居町の保育について子育て世代の方から説明を聞いたりします。





## 2 町長への提言

### (1) 各ゼミより

各ゼミの設定した課題に対し、探究を通して得た解決方法について、町長へ提言します。提言者は各ゼミ代表のゼミ長です。全校生徒が見守る中、緊張感のある提言となりました。スライドや動画を電子黒板に提示したり、シオラマ等の制作物を紹介したり、様々な工夫がされています。一方的に話すだけではなく、町長の回答に対してさらに質問を重ねる提言もあり、聞いている人も思わず引き込まれます。

### (2) 町長への提言

生徒たちは、実際に以下のような提言を町長に行いました。

提言1：寄居町内の公共交通手段を充実させることで地域がより活発になるのではないのでしょうか。

提言2：寄居駅前の Yotteco に男女の悩み（性差による偏見や差別等を含む）を語り合える場を設けるべきではないのでしょうか。

提言3：防犯対策として、町内の街灯を増設してはどうでしょうか。

提言4：環境美化、SDGs を推進するために、ゴミの回収品目を25品目に指定するべきではないのでしょうか。

提言5：鉢形城歴史館で、寄居玉淀水天宮祭の企画展をしてはどうでしょうか。

中学生の視点ならではの提言に対し、町長はひとつひとつ真剣に答えてくださいました。生徒たちは町長からの答えに対し必ずコメントをしたり、さらに聞きたいことを質問したりし、活発な議論が展開されました。生徒たちは町長とのやりとりを通し「もっと知りたい、もっと学びたい」という意欲がわき、ふるさと

・寄居町への思いを新たにしました。



## 3 生徒の感想

- ・寄居町にはいろいろな特産品があることがわかりました。自分が知らない食べ物や行事、場所があったので、それに興味をもちました。できることがあれば挑戦してみたり、実際に行ってみたりしたいです。自分が知らない寄居町のよさがまだまだあると思うので、もっと調べたいです。
- ・自校の歴史について少し調べてわかったことは、やはり情報が膨大だということです。どこまで掘り進めていったらいいのか、知りたいこと、やりたいことをみんなでまとめていきたいです。インターネットだけではわからないことも多いし、身近に詳しい方がたくさんいらっしゃるの、そういった方にいろいろ聞いていこうと思います。
- ・小・中学校の歴史を調べるという考えはなかったけれど、友達から案が出たときにおもしろそうだなと思い、調べることにしました。誰に聞けばわかりそうなどと意見を出し合い、リストアップできたので、来年どんな風に広がっていくのか楽しみです。来年は私たちがリーダーになるので、先輩達のようにゼミをまとめていけるようがんばります。